



車いすを手渡す井関農機のみなさん



働く婦人の家で水上会長(左)から
プルタブ 80kg を受け取りました

7月7日、JAM井関農機労働組合熊本支部青年女性部(代表・杉本達昭さん、40人)から平成唯仁館の入所者へ、車いす1台が贈られました。

この活動は、井関農機が社会貢献活動として3年前から行っているもので、今回は、家庭や工場で出るプルタブ(空き缶のふた部分)やアルミ缶などの有価物を1,000kg集め、業者に売却することで、車いす1台分の基金を集めました。

杉本さんらが「今後この活動を通じ、益城地区の方々のお役に立てるよう頑張っていくます」と車いすを手渡すと、施設の統括副部長・川上功さんは「大切に使用させていただきます」と笑顔で受け取りました。

また、杉本さんらは同日、働く婦人の家を訪れ、同館の使用者連絡協議会(水上弘範会長)が昨年度から回収してきたプルタブ約80kgを早速受け取り、今回の活動に弾みをつけていました。

JAM井関農機労働組 車いすをプレゼント

プルタブなどの売却益金で平成唯仁館へ

おいしく育てボクらのお米

益城中央小5年生が田植え体験

6月25日、益城中央小学校(北本 修 吾校長)の5年生66人が、同校西側にある10アールの水田で田植を体験しました。

この日植えたお米は「ヒノヒカリ」。子どもたちは苗の束を持ち、町青年農業者クラブ(福岡盛寛会長)の会員らが田んぼの両側に張ったひもに沿って、1株1株ていねいに植え付けていました。最初は田んぼのぬかるむ感触に「キャー、キャー」と声を上げていた子どもたちも、1時間ほど植え続けるとすっかり手つきが良くなり、「おいしいお米がたくさんできてほしい」と秋の収穫を楽しみにしていました。



実りの秋が楽しみです戸



みんなの願いが届きますように

みんなで七夕飾り☆

惣領子ども会

7月4日、惣領2町内公民館で、惣領子ども会(当日現在、55人が会員登録)が発足し、七夕祭りを楽しみました。

あいにくの天候ではありましたが、公民館には子ども37人と大人29人が、所狭しと集まり、にぎやかな雰囲気ですり付けを行いました。用意された2本の大きな青竹は、思い思いの願い事が書かれた短冊や、折り紙で器用に作られた色とりどりの作品で、あっという間にいっぱい!! みんなで作った七夕飾りは、黒潮市場へ運び、店先を通るお客さんの目を楽しませていました。